

日産車体株式会社

2026年度 第1四半期決算説明

(2027年3月期)



2026年 8月

決算サマリー

当社グループを取り巻く環境は、中東情勢不安を始めとする国際的な地政学リスクに引き続き注視が必要な状況が続いている。

このような環境において、主に今年4月に生産を開始した「新型エルブランド」の増加等により、増収・増益となった。

売上台数

主に今年4月に生産を開始した「新型エルブランド」の増加等により、前年同期と比べ11.5%増加の39,428台

売上高

台数増加や車種構成の影響等により、27.4%増加の1,119億円

営業利益

台数増加や車種構成の影響に加え、原価低減活動による生産コストの削減等により143.5%増加の54億円

経常利益

132.7%増加の56億円

親会社株主に帰属 する当期純利益

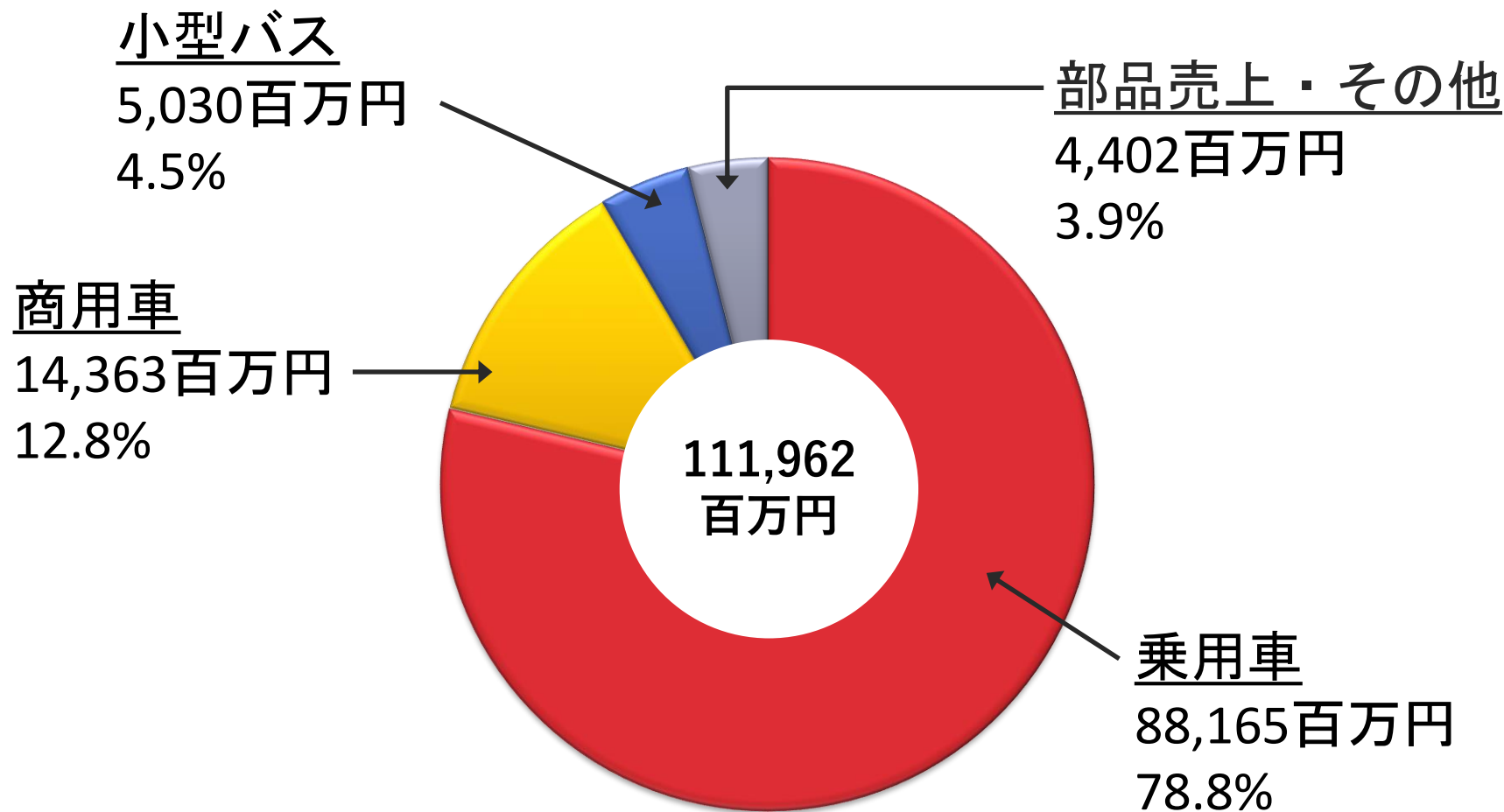
122.1%増加の38億円

業績ハイライト

単位: 百万円

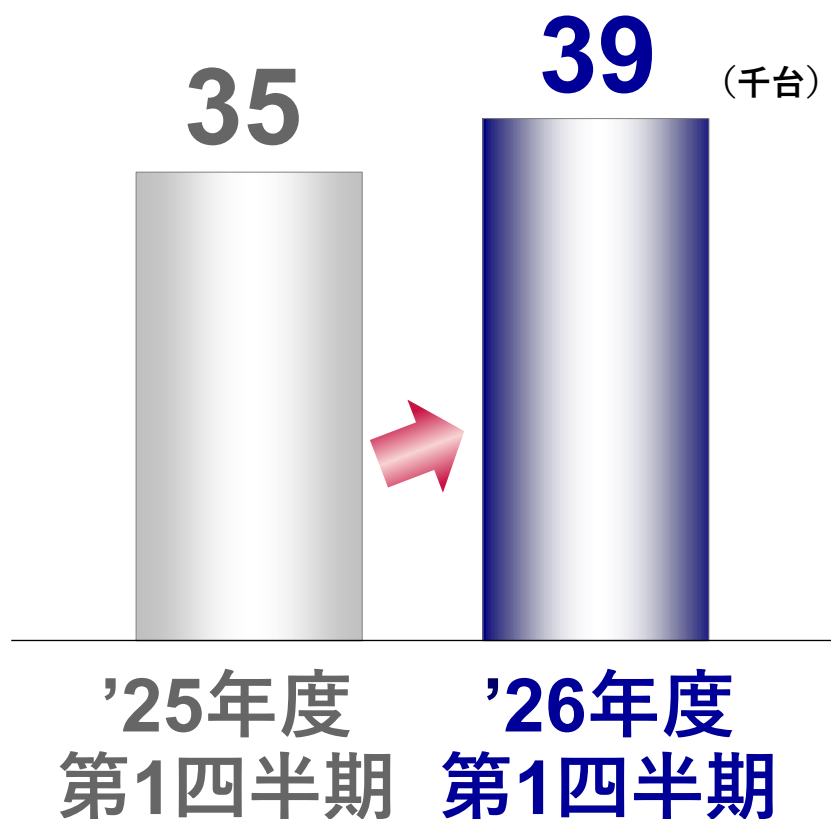
	2025年度 第1四半期 (2025/4～6)	2026年度 第1四半期 (2026/4～6)	増減額(率)		通期計画
売上高	87,882	111,962	24,080	27.4%	448,000
営業利益	2,226	5,422	3,196	143.5%	21,000
経常利益	2,436	5,669	3,233	132.7%	21,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,728	3,839	2,111	122.1%	14,000

製品別売上高構成比



売上台数

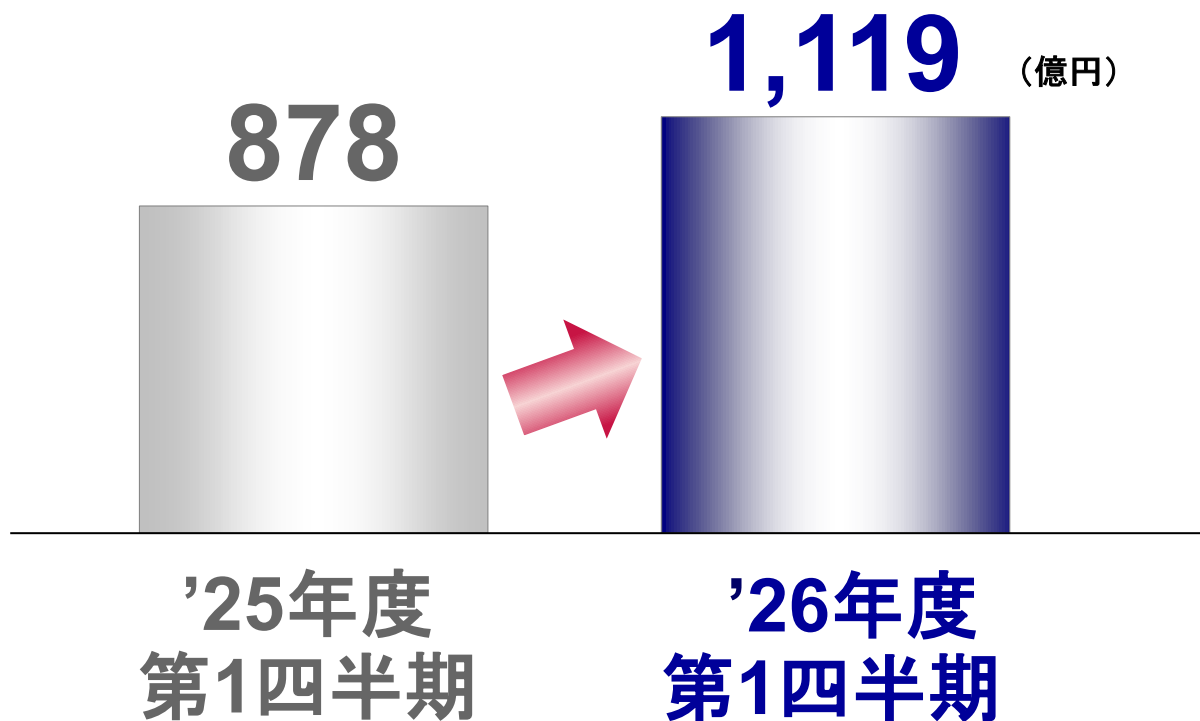
主に今年4月に生産を開始した「新型エルグランド」の増加等により、前年同期と比べ11.5%増加の39,428台



	(千台)		
	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	22	27	22.9%
商用車	11	10	-15.5%
小型バス	2	3	37.6%
合計	35	39	11.5%

売上高

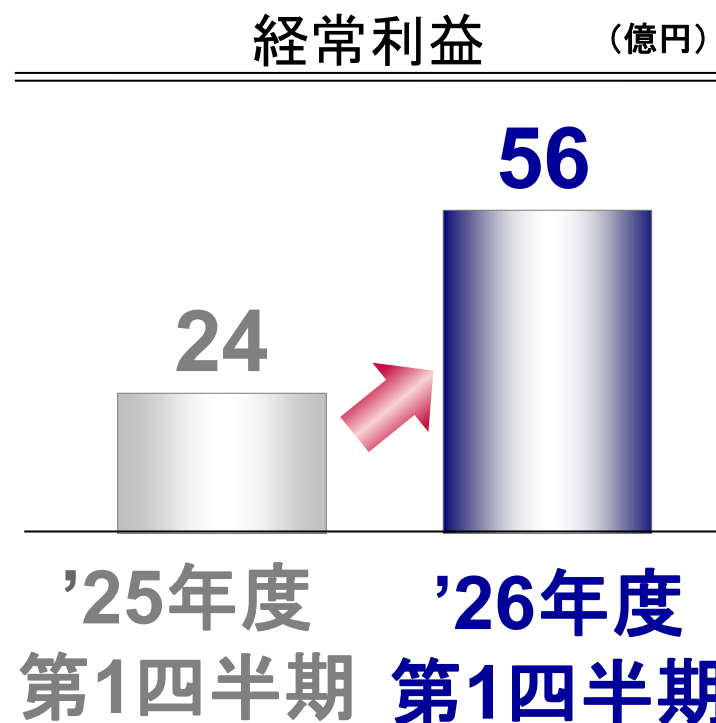
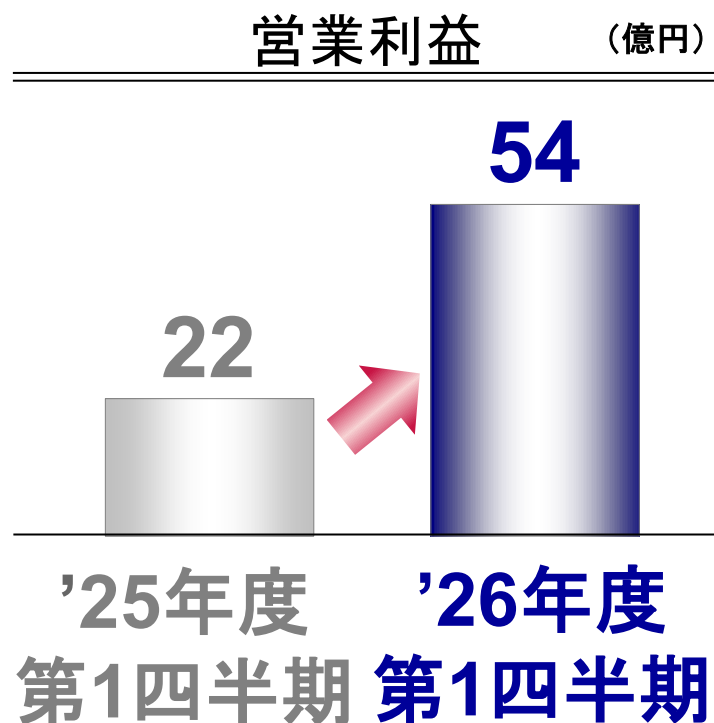
台数増加や車種構成の影響等により、27.4%増加の1,119億円



営業利益／経常利益

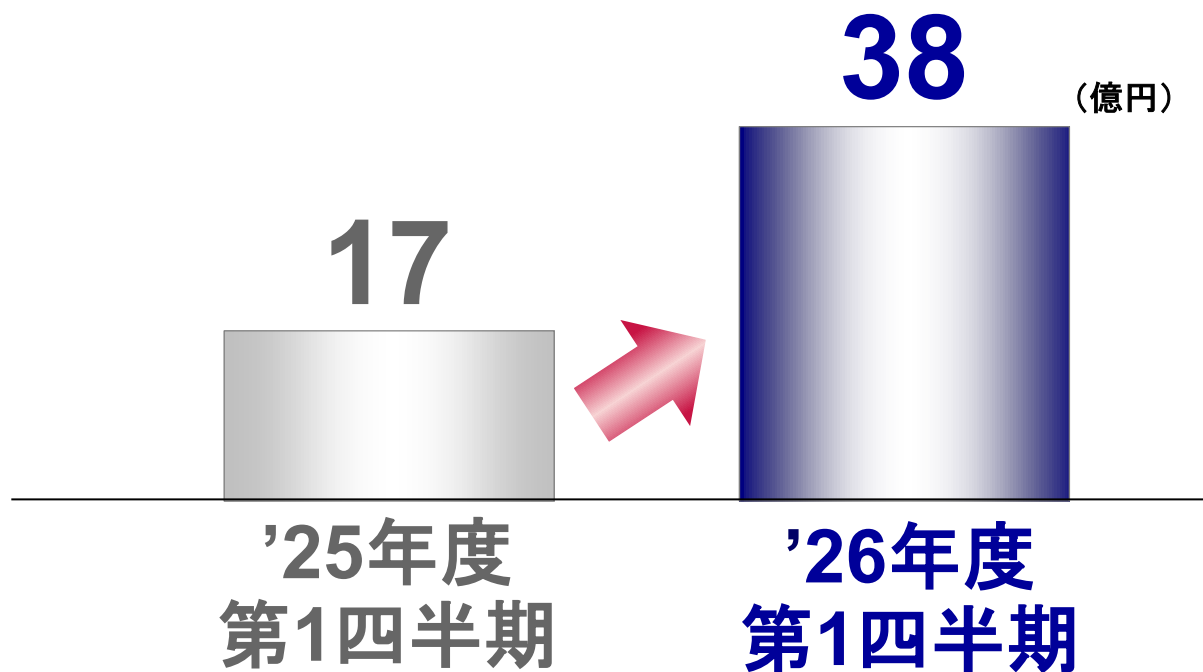
営業利益は台数増加や車種構成の影響に加え、原価低減活動による生産コストの削減等により143.5%増加の54億円

経常利益は132.7%増加の56億円



親会社株主に帰属する当期純利益

122.1%増加の38億円



1株当たり配当金

2027年3月期の配当予想は未定

